

編集後記 これでもいいのだ

高市総理の睡眠時間が2時間だと話題になりましたネ。

疲れると失敗するのが人間。応援しながらもちと心配です。(^_-)

働いて働いて

アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

http://www.avenir-sr.jp

E-Mail avenir4you@gmail.com



疲れと言えば僕が大学生時代、サークル活動の今後の予定を決める会議で紛糾したことがありました。夜10時を超えた会議は膠着状態になってしまい、疲れた皆からは意見も出なくなりました。そこで議長から意見を求められたM君のひと言が、疲弊した会議を不思議な雰囲気へと一変させました。

(ちょっと格好つけてキッパリと) 「**決めかねません!**」

しばらくの静寂の後、「ん?なんて?」「どっち?」といった戸惑いの声が笑いに混じって上がった中、「お前はバカボンのパパか!」と誰かが言い放ち、ドッと笑いが起きました。

若い方は知らないかもしれませんが、「バカボンのパパ」の口グセが「**賛成の反対なのだ**」なのです。

そんな(アホな)M君のおかげで、疲れきった会議に明るさと活気が戻ったことを懐かしく思い出します。(^_-)

決めかねません!

どっち?



さて、12月にちなんだ「掃除」にまつわるお話を。

お釈迦さまの弟子に**チューラパンタカ(周利槃特: しゅりはんどく)**という人がいました。

若き日のチューラは物覚えが悪く、自分の名前さえ忘れてしまうので、名前を書いた板を背負い、名前を聞かれたらそれを指さして見せていたそうです。

そんなチューラですから、仏の教えをなかなか覚えることができないで落ちこぼれていました。(^_-)

ある時、自分の愚かさを嘆いているところにお釈迦様がやってきて言いました。

「**悲しむ必要はない。おまえは自分の愚かさを知っている。愚かさを知ることこそ悟りに近いのだ。自分を賢者だと思っている者こそ真の愚か者だ。**」

そして一本の箒と「塵を払わん、垢を除かん」という短い法語を受け、毎日掃除するようにいったのです。

それから20年、毎日の掃除の中からチューラパンタカは「心の汚れ(煩悩・怒り・執着)」の存在に気づき、遂に悟りを開きます。多くの人から尊敬を集め、後に**十六羅漢**に数えられる高僧となりました。

お前はこれでもいいのだ



お世話になっている先輩の机は念入りにネ

僕が大学を卒業して入社した会社は、新人は早く出社して机の拭き掃除をすることになっていました。

早く起きなくちゃいけないし辛いなと思うこともあったのですが、後で思うと楽しい記憶の方が多かったと感じています。掃除を通じて入社した同期と仲良くなりましたし、座席表を見ながら掃除をするわけですから先輩や上司の名前を覚えることができました。おかげで会社に馴染めた部分もあったと思うのです。



「**楽しい**」の「**楽**」と「**楽(らく)**」は、**同じ漢字を当てますが似て非なるもの**だと僕は思っています。AIに任せや**楽ちゃん楽ちゃん**。昨今のAIは簡単に答えを出してくれるので、圧倒的に「**楽(らく)**」。AIがこれからの

私たちの生活や仕事の生産性に寄与してくれるものであることは疑う余地がありません。

でも、「**楽(らく)**」が、長い目で見ると時に成長の妨げになることもあります。

「**楽しいと楽は違うよ。楽しいと楽は対極だよ。楽しいことがしたいんだったら楽はしちゃダメだと思うよ。**」

とは、僕の大好きなミュージシャンの甲本ヒロトさんの言葉です。

天才バカボンの「バカボン」の名前は、「馬鹿なボンボン」を指すとされているのですが、実はお釈迦様の別称「**薄伽梵(バガボン)**」が重ねられているという説があります。

嘆くチューラに、バカボンのパパが「**これでもいいのだ**」と言っているような気がしませんか?(^_-)

AIのように簡単に即答するのではなく、悩ましくも「**賛成の反対なのだ**」と答えるバカボンのパパは、人の悩める試行錯誤や模索することを肯定しているようにも思います。

そして、最後はハチャメチャ話でも感動ストーリーでも「**これでもいいのだ**」と全てを受け入れます。

その楽しい「天才バカボン」には欠かせないのが、いつも掃除をしている「**レレレのおじさん**」です。

つぶらな黒い瞳をした「**レレレのおじさん**」こそ、チューラなのかもしれません。(^_-)-☆

これでもいいのだ



おでかけですか? レレレの〜



最後にそのチューラの後日談。亡くなったチューラの墓所から名もなき植物が生えてきたといひます。

人々は名前を書いた板を背負っていた姿を思い出し、茗荷((名を荷う): ミョウガ)と名付けました。

茗荷を食べると物忘れをする、という俗説は、そこから生まれたとか。

最近、名前が出てこないことの多い僕ですが、茗荷が好きなせいかもね。(^_-)

ミョウガのせいなのよ

いや歳のせいだよ



これでもいいのだ

アヴニール労務事務所 未来は変えられる! **avenir**